

特集 1

変わるトイレ空間 明るく、楽しく、 行きたくなる場所に

- CASE 1 ちはら台幼稚園
光を取り入れて明るい空間に大変身
- CASE 2 白ばら幼稚園
おとぎ話の世界のような楽しい空間
- CASE 3 第二さみどり幼稚園
機能的で安心できるトイレ空間

特集 2

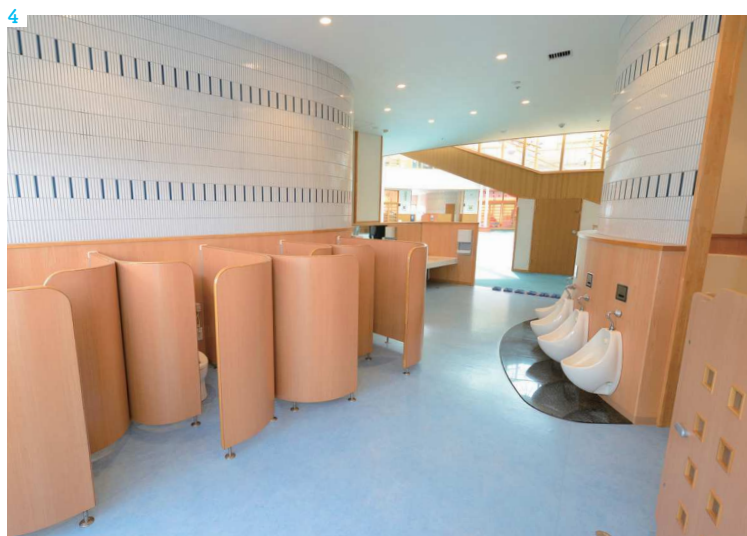
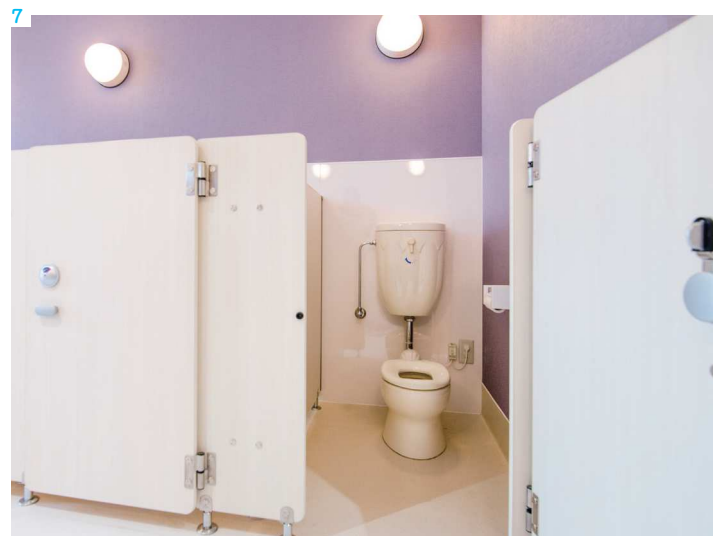
乳児棟を増築して、 幼保連携型認定こども園に 生まれ変わる

第二さみどり幼稚園

変わるトイレ空間

明るく、楽しく、
行きたくなる場所に

子どもが毎日必ず使う場所「トイレ」。
ジャクエツは、多くの実績や調査・研究に基づいて
問題を解決し、園のニーズに合わせて、
清潔で明るく、安心できる快適な空間を提案し続けています。



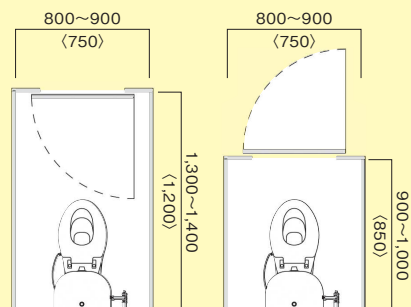
- 1 | 23年前から提案している、オープンなスペースのトイレ。ドライ式の床なので、掃除がしやすい。
- 2 3 4 | 指をはさむ心配がない、扉のないノンボルトブース。(特許取得)
- 5 | おまる便座にもなる乳児用便座。
- 6 | 光を透過するパネルを使用したブース。
- 7 | 内側から施錠できる幼児用トイレブース。

ジャクエツが推奨するトイレ空間の一例

子どもが排泄を学ぶ大切な時期に、安心して使えるトイレが必要です。データに基づき、子どもが使いやすいサイズを提案します。

ブースの広さ

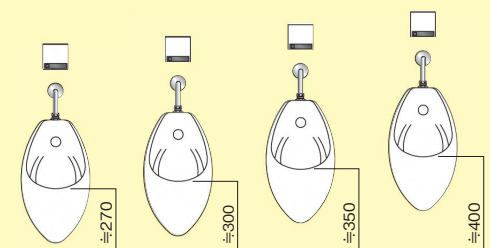
ドアの開き方（外開き、内開き）によって寸法が違います。



※く>内は最小寸法です。(単位mm)

小便器の設置位置

リップの高さを子どもの年齢や身長に合わせることができます。



※設置の高さはあくまで目安です。(単位mm)

一般的にトイレには、5K(臭い、汚い、暗い、怖い、危険)というマイナスイメージがあります。この5つの問題があるトイレの場合、子どもが行きたがらず、排泄をがまんしてしまいがちです。

最近では、駅や商業施設など公共の場所には、きれいなトイレが多く、家庭のトイレも洋式の水洗トイレが一般的です。便座も温かくて快適なものが増えていますが、幼稚園や保育園ではどうでしょうか。子どもが初めての集団生活を送る場所となる園のトイレが、家庭で使用しているトイレとは違い、5Kのうちのどれかに当てはまるトイレだったら、子どもや保護者も不安な気持ちになるのではないのでしょうか。

ジャクエツは、この問題を改善するために、新しいトイレの提案を23年前から始めています。子どもが安心して使えるトイレにするために、臭いのない清潔で明るい空間、段差がなく、つまずきの心配がない出入り口、指をはさむ事故を防止するブースなどを提案してきました。また、トイレに行きたくなるような楽しいデザインの空間や、子どもの体格を調査し、データに基づいたオリジナルの便器や暖房便座、手洗いシンクなどの商品開発を行い、多くの実績を積みできました。トイレは子どもにとって生活の基本となる大切な場所です。子どもが安心して使える快適な空間を、ジャクエツはこれからも提案していきます。

問題点



暗いトイレ

KURAI
TOILET

- ・ブースが高く個室が暗い。
- ・園舎の奥や北側にあり、窓がなく、外の光が入りにくい。
- ・照明の明かりが、トイレ全体に行き届いていない。

解決！

ブースは子どもの身長に合わせた高さに。光を透過するクリアパネルや扉のないブースに替え、照明を工夫してより明るい空間に。



問題点



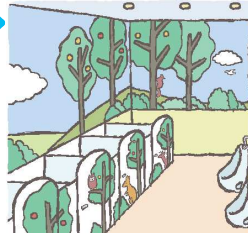
怖いトイレ

KOWAI
TOILET

- ・冷たさや暗さが恐怖心につながる。
- ・恐怖心は心理面で子どものストレスになる。
- ・子どもがトイレに行きたがらず、がまんする。

解決！

壁やトイレブースを楽しいデザインにして、わくわくするトイレに。オープンなスペースと温かい暖房便座で安心できるトイレに。



問題点



危険なトイレ

KIKEN
TOILET

- ・壊れたトイレは危険がいっぱい。
- ・床が濡れているとすべりやすい。
- ・入り口や床に段差があると、つまづくことも。
- ・トイレの扉で指はさみ事故の可能性。

解決！

老朽化が進んでいるなら、まるごと改修！さらに、年1回のリフレッシュコーティング*や定期メンテナンス*できれいな状態が長続き。



※リフレッシュコーティング、定期メンテナンスについては弊社の営業社員にお問い合わせください。

問題の
原因は何？

NG 5K
TOILET

子どもや保護者、
職員から敬遠される 5 Kのトイレ

「臭い」「汚い」「暗い」「怖い」「危険」、5 Kのトイレの問題点を改修工事で解決する方法を提案します。

問題点



臭いトイレ

KUSAI
TOILET

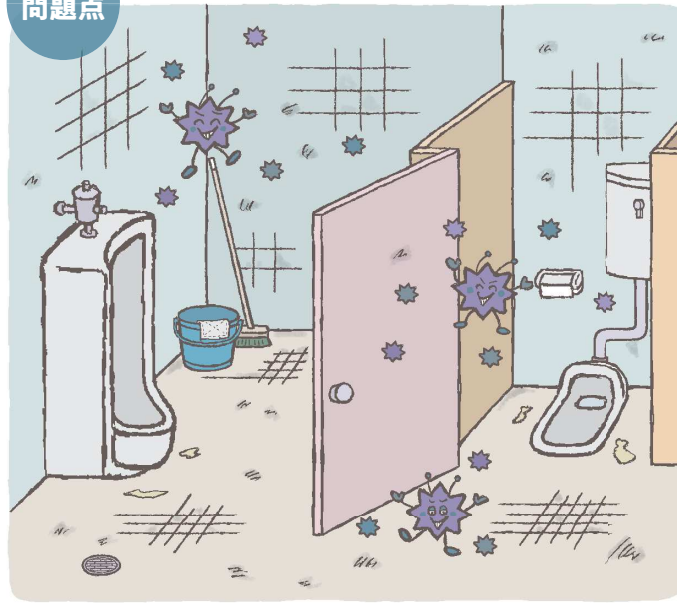
- ・水で洗うウエット式の床は、タイルの目地などに汚れがしみつくので、掃除をしても臭いが残る。
- ・排水口から、下水の臭いがあがってくる。

解決！

水を使わずに掃除ができる、ドライ式の床に。臭いの原因となる排水口が不要になるので、臭いが気にならない空間に。



問題点



汚いトイレ

KITANAI
TOILET

- ・和式便器やストール型的小便器は不慣れで失敗する子どもが多い。
- ・ウエット式の床は湿気が多く、カビや細菌が繁殖しやすい。
- ・湿気はブースや備品の腐食の原因に。

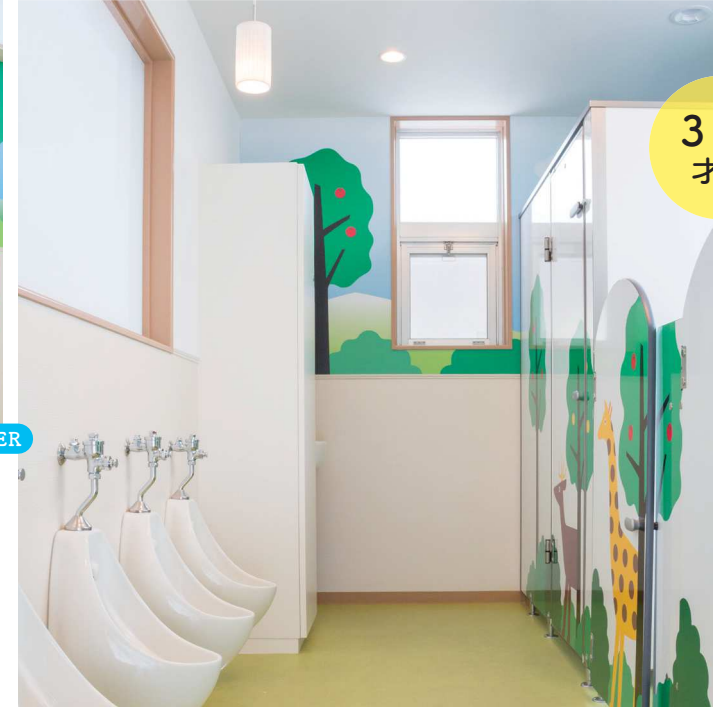
解決！

掃除がしやすいドライ式の床にして、湿気が少なく、清潔感があるトイレに。子どもが失敗しないように、体に合った便器に。





AFTER



3・4
才児

BEFORE



BEFORE | ステンレスの手洗いシンク。

AFTER 右 | 壁掛け式の小便器5つとトイレブース3つ、大人用ブース1つを設置。
AFTER 左 | 壁の一部を窓にし、手洗いシンクは子どもが使いやすい高さにした。

安全で、安心できる、子どもたちに人気のトイレに

2才児のトイレは、手洗いシンクとトイレの間の壁をなくし、オープンで明るいトイレにしました。ストール型の小便器は、床への止めねじ部分の掃除がしにくいため、臭いの原因の1つとなっていました。新しく入れ替えた壁掛け式の小便器は、下が空いているので掃除がしやすく、清潔に保てるので、臭いの心配がありません。大便器の数は2つから3つに、手洗いシンクの蛇口も2つから3つに増やし、子どもたちのトイレや手洗いの順番待ちが、解消できるようにしました。

また、トイレブースの扉は開閉時に、子どもが指をはさむ危険が潜んでいる場所です。改修後のトイレは、ブースと扉の間にすき間を設けていて、事故防止の工夫を施し、より安全なトイレにしました。

「オープンなトイレになったことで、職員が子どもの手洗いをサポートしながら、ほかの子どもたちも見守りやすくなりました。出入り口の壁がないので、臭いが気になるのではないかと思いましたが、臭いは気になりませんでした」と、園長先生は、言ってくれました。

改修工事が終わったあと、子どもたちは新しいトイレがかわいいと喜んでくれ、幼稚園見学に訪れた保護者からもトイレの印象が良いと評価をいただいています。

CASE 1

千葉県市原市
ちはら台幼稚園

光を取り入れて 明るい空間に大変身

園舎の北側に位置する3つのトイレは、太陽の光が入りづらく、暗い場所でした。改修工事で、明るいトイレに生まれ変わりました。

大胆に壁に窓をつくり、明るく、使いやすいトイレに

1991年に竣工した、ちはら台幼稚園は、2017年の夏に、竣工以来初めて大規模なトイレの改修を行いました。2才児のトイレ1つ、3才児、4才児のトイレ2つは、建物の北側にあるので、太陽の光が入りづらく、暗い印象でした。「明るくて子どもが入りやすい、安全なトイレにして欲しい」という要望をいただき、それを実現する改修案をご提案いたしました。

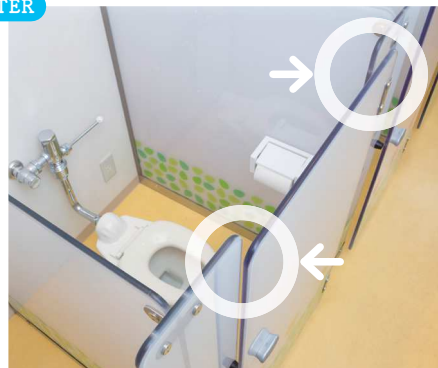
3才児、4才児のトイレの大きなポイントは、壁を大きな窓にしたことです。廊下側の壁の一部を窓にして、光を取り入れやすくしました。

また、トイレブースを、光を透過するクリアブースにすることで、ブース内も明るくなりました。園長先生からは「改修したトイレを見たときの第一印象は、明るい！です。これなら暗いトイレを嫌がる子どもが、少なくなると思いました」という感想をいただきました。

さらに、子どもの洋服が汚れてしまったときも、すぐに対応できるように、トイレにシャワーブースと洗濯機を設置しました。廊下にある手洗いシンクは、改修前より高さを低く設定して、子どもが使いやすいサイズにしました。また、もう1つの3才児、4才児のトイレには、使用人数に合わせて小便器を4つから5つに増やしました。

2才児

AFTER



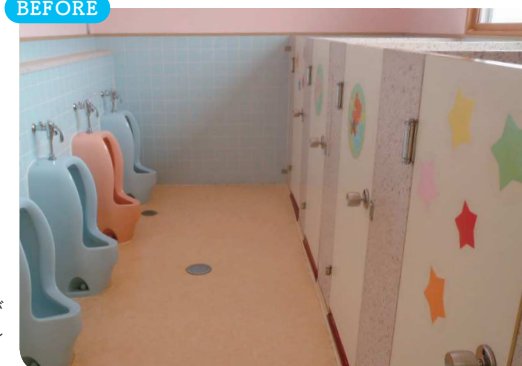
AFTER 右 | 2 cm のすき間があるので、指はさみ事故がなくなった。
AFTER 左 | オープンなスペースになり、職員が子どもの見守りをしやすくなった。

BEFORE



BEFORE | 職員手作りの飾りで暗さ、怖さを軽減する工夫をしていた。

BEFORE



BEFORE | 暗くて、臭いが気になるトイレだった。

AFTER

3・4
才児



AFTER 上 | 壁の一部を窓にして、明かりを取り入れやすとした。
AFTER 中 | 光を透過するクリアブースを使用した。
AFTER 下 | 洗濯機とシャワーブースを設置。壁には魚の絵が描かれている。



5才児保育室隣のトイレと手洗いスペース。



上 | 5才児保育室隣のトイレ。
下 | 0才児、1才児保育室のトイレ。

**子どもたちが使いやすい
見守りやすいトイレ**

第二さみどり幼稚園は、園舎の増築に伴い、既存園舎の5才児保育室に隣接したトイレを、より安心して利用できるように改修しました。

トイレ入り口の、ゆとりのある手洗いスペースは、奥が見通せる棚で仕切り、保育士がトイレを利用する子どもを廊下から見守りやすく、子どもが一人でも安心してトイレに行けるようにしました。オープンな空間なので、閉じ込められたような恐怖や不安などを感じさせることはありません。しかし、トイレが全部見えてしまうような、仕切りが全く

ない空間と違い、棚があることで、子どものプライバシーを守る役割もあります。機能面では、子どもの身長によって、使いやすい高さを选べるように、小便器の高さをそれぞれ調節して設置しました。

増築した0才児、1才児保育室のトイレは、園庭に面した扉もあり、外で遊んでいる子どもが、園庭側から入ることが出来ます。保育室に面した大きな窓と園庭側の扉から、トイレ全体に光が差し込み、明るい空間になっています。乳児用のシャワーブースやおむつ交換台を設置し、トイレトレーニングができるように、おまる便座にも替えられる便器を取り入れた機能的なトイレです。

CASE 3

福井県敦賀市
第二さみどり幼稚園

機能的で安心できる トイレ空間

CASE 2

大阪府高槻市
白ばら幼稚園

おとぎ話の 世界のような 楽しい空間



園庭からも室内からも入れるようになっている。



トイレブースと
ダウンライト。

**絵本の世界観を演出して
わくわくする空間に**

白ばら幼稚園のトイレには、フクロウのいる大きな木があり、子どもたちを楽しませています。これまで、大人用と3才児から5才児用のトイレに分かれていた狭いトイレを、「2才児から5才児まで一緒に使える、楽しいトイレにしたい」という要望を受けて、トイレを改修しました。

大人用と子ども用に分かれていたトイレを1つにして広くし、2才児にも使いやすい高さの小便器を取り入れました。大きな木はトイレ内を通る配管を隠す役割も担っています。

ドーム型の天井は空の広がりを感じさせ、ダウンライトは木漏れ日をイメージしています。木にとまるフクロウは、室内からの入り口と園庭からの入り口、どちらから見えるように設計されています。

おとぎ話の世界に入ったような、楽しいトイレです。

CASE 7

兵庫県宝塚市 はなみずき保育園

ホールの収納庫を有効活用

改修前は、ホールのある3階にトイレがなく、不便があったので、トイレを増設しました。収納庫の1つを、閉鎖感が出ないようにオープンなトイレ空間に改修しました。ホール全体の統一感を崩さないように、白を基調にしたシンプルなデザインにしました。



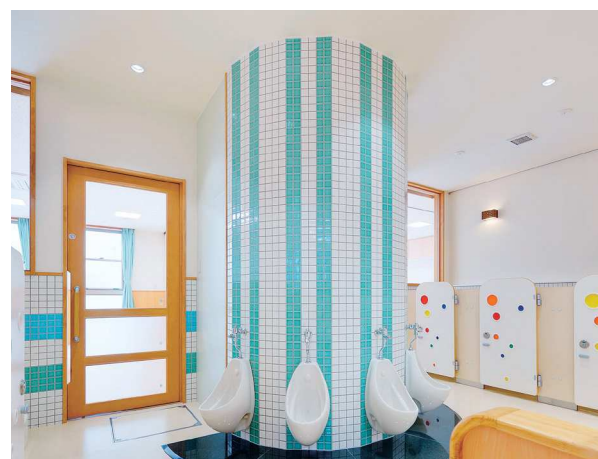
上 | 改修工事後。
下 | 改修工事前。

CASE 8

岡山県岡山市 岡山聖園マリア幼稚園

明るい森をイメージ 開放的な空間に

森をコンセプトに、開放的で明るいトイレをつくりました。センターの柱の曲面に小便器を設置し、緑のタイルを縦方向に貼ることで木のイメージにしました。トイレはエントランスから見える位置にあるので、園のアクセントにもなっています。



トイレブースは色とりどりの木の实をイメージ。

CASE 9

新潟県新潟市 天鐘こども園

円柱を活かした 空間をつくる

園舎の新設に伴いトイレ空間を提案しました。園舎の構造上、廊下の中心に円柱を建てることになるため、円柱を活かせるように、円形を多用したデザインにしました。トイレ内のスペースや天井にも曲線を使い、手洗いシンクも円形です。円柱には座って読める絵本棚をつけました。



上 | 廊下のスペースにあるシンク。
下 | 柔らかな印象のトイレブース。

園のニーズにあわせた トイレの実績例をご紹介します

スペースが狭い、トイレが遠いから不便、子どもが喜ぶトイレにしたいなど、トイレの問題は園それぞれです。ジャクエツは、お客様とご相談しながら、ニーズにあわせたトイレをご提案しています。前述の3園のほかに、最新の実績をいくつかご紹介させていただきます。



CASE 4

東京都青梅市 よしの保育園

照明と木目調で 温かい印象に

改修前はブースの背が高いために内部が暗く、寒々しい印象がありました。ペンダントライトでブース内を明るく照らし、木目調のブース、丸型の扉など温かい印象のものを取り入れました。また、既存トイレにはなかったシャワーブースを設置し、より使いやすいトイレにしました。



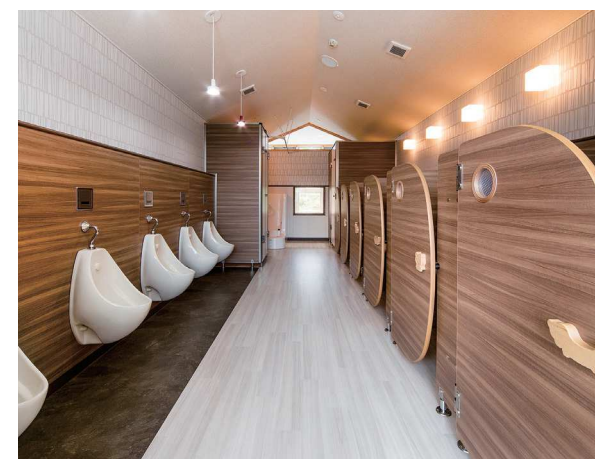
上 | 改修工事後。
下 | 改修工事前。

CASE 5

岐阜県郡上市 浄心こどもの城

機能的なトイレに 高級感をプラス

掃除のしやすいドライ式の床を取り入れました。トイレ全体は落ち着いた木目調で、ホテルのような高級感がある飽きのこないデザインです。天井高を抑えて居心地の良い空間とし、カラフルな吊り下げ照明をアクセントにしました。奥の窓からエントランスが覗ける特別な空間です。



明るくシックなデザインのトイレ。

CASE 6

愛知県豊橋市 三宝こども園

わくわく冒険気分 トイレにGO!

恐竜をテーマにしたトイレです。入り口に一步入っただけで、子どもが恐竜時代にタイムスリップしたような冒険気分になれるトイレにしました。壁に描かれた恐竜は立体的で、子どもが触って楽しめます。手洗いシンクの中心には火山をイメージしたオブジェをつくりました。



上 | 恐竜に触ったりして楽しめるトイレ。
下 | 洞窟のような入り口。

乳児棟を増築して、 幼保連携型認定こども園に 生まれ変わる

大きな窓に囲まれた乳児棟には、
明るく、温かい光がたくさん入ります。
今までの幼稚園の歴史を継承し、
さらに新しい、こども園が誕生しました。



光がたくさん入る 大きな窓の園舎に

福井県敦賀市にある、第二さみどり幼稚園は、2018年春、幼保連携型認定こども園に生まれ変わりました。これまでは幼稚園型認定こども園として、2才児から5才児までを対象としていましたが、幼保連携型として0才児、1才児を受け入れるため、既存園舎の一部改修と、乳児棟を増築しました。

乳児棟は、各階天井の高さまである大きな窓のついた3階建てで、1階に0才児、1才児の保育室があり、窓の外はウッドデッキになっています。園庭が目の前に広がり、乳児室からは外で遊ぶ元気な子どもたちの姿を見ることが出来ます。1階から2階に続く階段の近くには、木製の遊具を設置し、室内でも子どもたちが楽しく遊べるようになっていました。2階は、2才児の保育室が2部屋、3階には多目的室があります。すでに在籍している子どもたちも、有意義に活用できる空間が広がりました。増築するにあたり、既存の園舎にある職員室の拡張や、子どもたちの食事をつくる厨房、5才児保育室に近いトイレ、床の一部などの改修工事も行いました。

乳児棟の0才児、1才児保育室はテキスタイルデザイナーの鈴木マサル氏が、インテリアのデザインを手がけました。詳しくは次のページで紹介します。



右 | 1階の階段近くにある、ハンモックやすべり台がついた、木製遊具。



左 | 大きな窓に囲まれた、2階の2才児保育室。



クラスやトイレなどの部屋名札も鈴木氏のデザイン。何の部屋かひと目でわかるイラストが描かれている。

上 | 乳幼児室の天井には動物や鳥などのデザインを天井材に印刷している。
下 | 部屋の仕切りにもなる備品は、収納だけでなく、遊びの機能をもつ。



鈴木マサル（すずきまさる）
1968年、千葉県生まれ。テキスタイルデザイナー。多摩美術大学美術学部卒業。栗辻博デザイン室に勤務後1995年に独立し、2002年ウンピアット設立。2005年に自社企画ファブリックブランド「OTTAIPNU（オットアイピヌ）」を立ち上げる。国内外のメーカー、ブランドで活躍する。東京造形大学教授。



鈴木マサル氏の作品。展示会やファッションブランドとのコラボレーション作品。

が長い乳児の保育状況を考え、いつでも乳児の視界に入るように天井にイラストを配置しました。備品のイラストは、活発に動き始めた子どもの行動を考え、ハイハイをするときや、座って遊んでいるときの目線の高さにあります。

また、備品のイラストは、同系色の色の違いに気づけるようにグラデーションをつけたり、先生や友だちとの会話に繋がるように、鳥や魚などの動物を散りばめました。

備品の一部は、ほふく運動を促す階段やスロープがついており、子どもたちが遊べるようになっていきます。子どもたちも興味を示し、笑顔で遊んでいます。

子どもの気づきを促す
笑顔になれる空間

0才児、1才児の保育室は、天井まである大きな窓に囲まれた明るい室内で、温かみのある木材を基調にした備品で統一しました。天井や備品には、鈴木マサル氏が描いたイラストが印刷されています。さまざまなことに興味をもち始める乳幼児にとって刺激となるデザインです。

乳幼児でも、形を認識しやすくなるために、イラストは太く、シンプルな線と、面を使って描かれています。イラストの内容を理解できなくても、線や色を目で追うことができます。仰向けで横になっている時間

乳幼児の目線で 考えた、 新しい保育空間

世界で活躍するテキスタイルデザイナー
鈴木マサル氏が手がけた空間です。
感性を豊かに育てるイラストを取り入れた
保育室が完成しました。

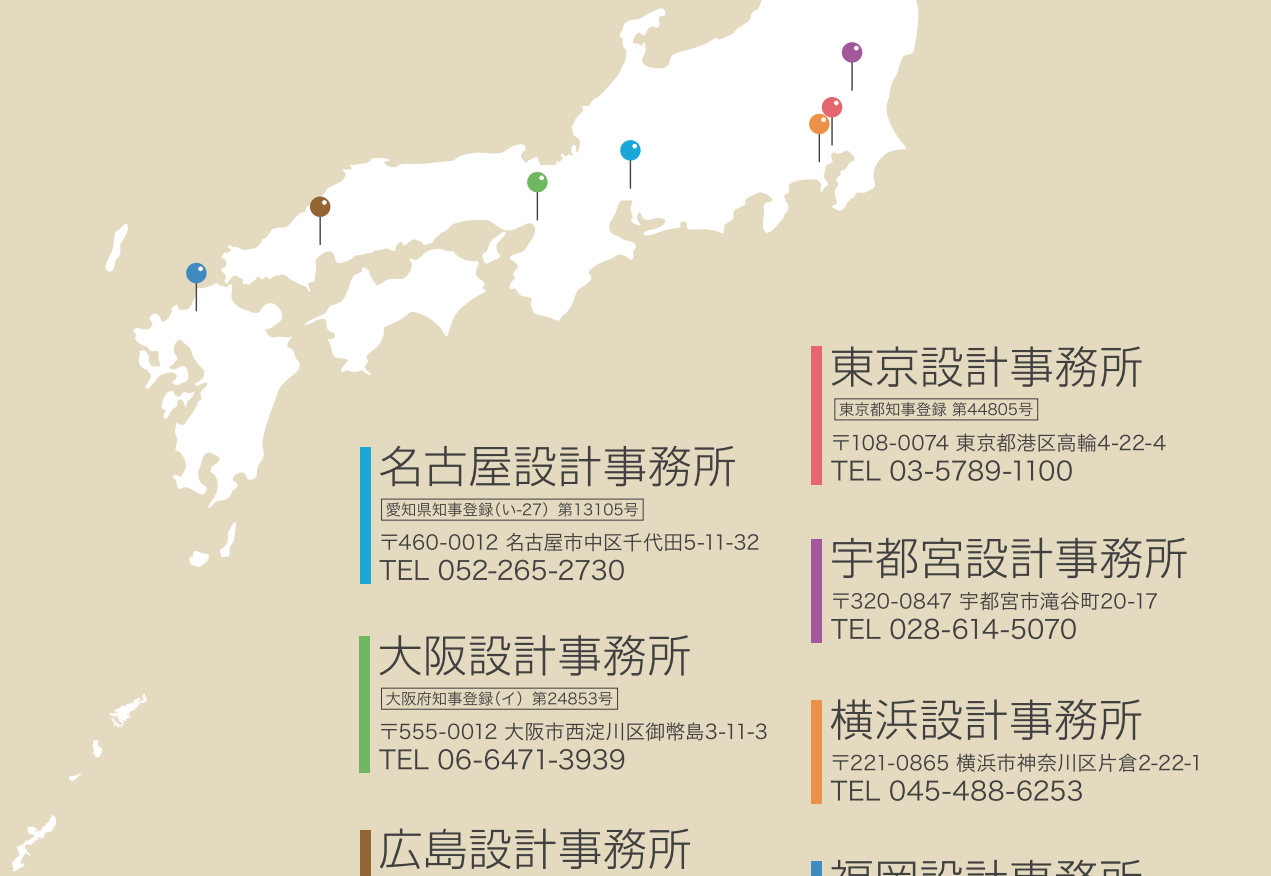
設計事務所 ARCHITECTURE OFFICE

子どもたちが主役の「宮殿づくり」

ジャクエツの園舎設計のコンセプトは“子どもたちの宮殿づくり”。
これまでに、幼稚園・保育園・こども園専門の設計事務所として、
500園以上の園舎を設計させていただきました。

プランニングからアフターフォローまで、
子どもたちの成長を第一に、それを支える職員の皆さまを
施設設備の面からサポートいたします。

株式会社 **ジャクエツ** 環境事業
一級建築士事務所



東京設計事務所

東京都知事登録 第44805号

〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4
TEL 03-5789-1100

宇都宮設計事務所

〒320-0847 宇都宮市滝谷町20-17
TEL 028-614-5070

横浜設計事務所

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-22-1
TEL 045-488-6253

福岡設計事務所

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町2-8-31
TEL 092-451-0117

名古屋設計事務所

愛知県知事登録(い-27) 第13105号

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-11-32
TEL 052-265-2730

大阪設計事務所

大阪府知事登録(イ) 第24853号

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-11-3
TEL 06-6471-3939

広島設計事務所

広島県知事登録17(1) 第5246号

〒730-0843 広島市中区舟入本町6-21
TEL 082-531-0770

こども環境の未来をつくる



ジャクエツ